

エレクトロニクス京都2026

リブランディングで価値創造

中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりなどから世界には不透明感が漂う。今、地道に研究開発力やチャレンジ精神を發揮してきた京都企業の底力が改めて試されている。京都の代表産業とも言えるエレクトロニクス分野では、EV(電気自動車)市場の成長鈍化などが半導体需要に影響を及ぼす。だが、京都企業は次世代通信や電池などを念頭に、開発・投資の布石を打っている。新たに生まれ変わる、リブランディングで価値創造を図る。京都のエレクトロニクス企業の動向を追った。

京都のエレクトロニクス企業で、創業家・稲盛和夫氏。これまで稲盛氏が創設した企業でトップ交代の死後後継となる。セラムックスを核に、や、2030年代に向けた成長戦略を打ち出した企業も相次いでいる。取り巻く環境がめまぐるしく変化している中、新トップのもとで中長期の成長戦略を描き、実行する。従来の強みを生かしつつも、時代に合わせたアップデートをしようとする苦悩する姿も垣間見える。

「事業の範囲が非常に広く、交流やシナジーが生まれにくい」。京セラの新社長に就任した作島史朗氏は自社の課題をこう口にす

京都のエレクトロニクス企業でトップ交代が相次ぐ

社名	新社長名	就任
ニテック	岸田 光哉氏	2024年4月
ROOM	東 克己氏	2025年4月
TOWA	三浦 宗男氏	2025年4月
SCREENホールディングス	後藤 正人氏	2025年6月
京セラ	作島 史朗氏	2026年4月

強み生かしアップデート

エレ企業、開発・投資に布石

運営は長年、部門に任されたが、さまざまなたたきを経て、株主資本利益率(ROE)を重要な経営指標として掲げ、31年3月期に80%以上26計画では、生産拠点統廃合などの構造改革を計画している。た。こうした背景から公表済みの29年3月期までの3カ年中期経営計画では、生産拠点統廃合などの構造改革を計画している。た。こうした背景から公表済みの29年3月期までの3カ年中期経営計画では、生産拠点統廃合などの構造改革を計画している。

ち上げ、全体を俯瞰して束ねてきた。だが作活動に取り組みでき、31年3月期を目前に、多角化は同社の特色として企業価値向上に向けた。多角化は同社の特色として企業価値向上に向けた。多角化は同社の特色として企業価値向上に向けた。



記者に説明するROOMの東社長

求められる新たな企業統治



謝罪する岸田社長

京都のエレクトロニクス企業で動向が注目されているのがニテックだ。同社ではグループ委員会による調査では、ヤリが問題の原因だと指摘された。

ニテックの動向注目

「不正な情報を開示し、株主や投資家、市場関係者の信頼を裏切った」。ニテックの岸田光哉社長は第三者委員会からの調査報告書を受領するに際し、謝罪の言葉を述べた。

ボトムアップ型へ変革がカギ

「不正な情報を開示し、株主や投資家、市場関係者の信頼を裏切った」。ニテックの岸田光哉社長は第三者委員会からの調査報告書を受領するに際し、謝罪の言葉を述べた。

漏水・浸水を早期に発見! 竹中のセンサ

TAKEEXのビル・工場・マンションなどに

漏水センサシステム

竹中エンジニアリング株式会社

www.takeex-eng.co.jp/ 京都 ☎075(583)6800

「不正な情報を開示し、株主や投資家、市場関係者の信頼を裏切った」。ニテックの岸田光哉社長は第三者委員会からの調査報告書を受領するに際し、謝罪の言葉を述べた。

暮らしに、エネパ!

nichicon

エネルギーパフォーマンスを高める会社。

NEW

太陽光発電と蓄電池とEV、3つのエネルギーを賢くコントロール。

トライブリッド蓄電システム®

ESS-T5シリーズ/ESS-T6シリーズ

トライブリッド蓄電システムは、太陽光発電とEV、3つのエネルギーをまとめて直流で効率よく制御する、ニチコンが世界で初めて開発したシステムです。

家庭を明るくすること。家計を暗くしないこと。

ニチコン株式会社

ニチコン エネパ

京都市中京区烏丸通御池上る TEL. 075-231-8461

きょうの、あたりしさを、越えてゆく。

日新電機

NISSIN ELECTRIC | **SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

日新電機グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

人と技術の未来をひらく **日新電機**

https://nissin.jp/

HORIBA

おもしろおかしくの力で
何ができるのだろう。

What is the power of Joy and Fun?

私たちHORIBAは社は「おもしろおかしく」のもと、
これまで培った「ほんまもん」の技術と多様性に満ちたチームの力で、
お客様や社会から必要とされる企業として持続的な成長をめざします。

おもしろおかしくをあらゆる生命へ
Joy and Fun for All

はかるだけじゃない、気づけば世界を動かしている。
株式会社堀場製作所

HORIBAのビジョン、
ミッション、バリューはコチラ▶

www.horiba.com/our-future/ja

エレクトロニクス京都2026 企業トップメッセージ

不二電機工業社長 八木 達史氏

2027年1月期に売上高42億5000万円を目指す「中期経営計画2027」が最終期に入った。売上高拡大に向け、モノづくり企業として常に付加価値の創造に挑戦し、特に「デジタル化」「省力化・省人化」の製品開発に注力している。近年の開発製品である

デジタル化で開発注力

「無停電交換用コネクタ」はテナントビル向けで堅調に販売を伸ばしている。生成AI（人工知能）の活用拡大で成長著しいデータセンター市場の開拓のため「Data Center JAPAN」に2年連続で出展し、好評を得ている。電力需要の増加が見込まれる中、鉄道や電力の大口需要を中心に、デジタル変換技術が注目される。当社はデジタル化に必要な通信の国際規格「IEC61850」を適用したインタ

「無停電交換用コネクタ」はテナントビル向けで堅調に販売を伸ばしている。生成AI（人工知能）の活用拡大で成長著しいデータセンター市場の開拓のため「Data Center JAPAN」に2年連続で出展し、好評を得ている。電力需要の増加が見込まれる中、鉄道や電力の大口需要を中心に、デジタル変換技術が注目される。当社はデジタル化に必要な通信の国際規格「IEC61850」を適用したインタ

GSユアサ社長 阿部 貴志氏

GSユアサは蓄電池技術をはじめとするエネルギー技術で、「社会インフラ」と「モビリティ」領域を中心に、世界中のあらゆる産業で人々の暮らしを支えています。2026年度は第7次中期経営計画のスタートの年であり、テーマは「企業価値の向上」です。

次の100年へ成長する

お客さま、従業員、株主の皆さま、そして社会全体といった、全てのステークホルダー（利害関係者）の皆さまから、より広範に、より深く認められ、共感される企業となることを目指してまいります。

その実現のため、「社会インフラ」と「モビリティ」領域において、既存事業のさらなる深化と、新たな成長機会の創出に取り組み、当社が止まることなく挑戦を続けていき、次の100年へ向けて成長してまいります。

この先も、常にステークホルダーの皆さまから信頼され、世の中から必要とされる企業であり続けるため、当社は止まることなく挑戦を続けていき、次の100年へ向けて成長してまいります。

SCREENホールディングス社長 後藤 正人氏

2026年度は中期3カ年経営計画「Value Up Further 2026」の最終年となる。経営大綱で掲げる2033年3月期の売上高1兆円の達成に向け、事業成長に向けた投資と経営基盤の強化を着実に進めている。

25年12月には半導体製造装置の競争力強化を目的と

人と技術つなぎ課題挑戦

米国ニューヨーク州に当社初となる海外研究開発拠点「ATCA」の設立を発表した。生成AI（人工知能）の進展により成長領域と見込む半導体先端パッケージング領域では、直接描画装置や塗布乾燥装置の販売を加速している。

加えて、ウエハーの低温接合技術などの開発および実装化を通じ、新たな価値創出に挑戦している。水素分野は国際的に投資の冷え込みが続くが、東京ガスと共同開発した低コストグリーン水素製造に向けた水電

解用触媒層付き電解質膜「PEXEM（ペクセム）」の量産受注体制を確立し、今後の需要を見据えた取り組みを進めている。

26年3月期は、AI関連の設備投資を着実に取り込み、ファウンドリーを中心にロジック半導体やメモリに向けて堅調に売り上げを推移させた一方、地政学リスクなど不確実性も高い事業環境が続いた。こうした環境でも、人と技術をつなぎ、社会課題解決に挑戦することで、持続可能な未来をひらいていく。

京セラ社長 作島 史朗氏

当社は「ザ・カンパニー」と呼ばれる会社になることを目指している。「会社」と言えば京セラだと言ってもらえるような、企業の象徴的な存在になることが究極の目指す姿だ。そのために経営理念「全従業員が物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」

象徴的な存在を目指す

の実現に向け、取り組んでいく。ザ・カンパニーの実現には、収益力強化に取り組む必要がある。電子部品セグメントやコアコンポーネントセグメントの部品事業では、AI（人工知能）半導体領域などに当社の特徴のある製品を提供する。電源回路で課題となる消費電力抑制に向け、両セグメントを横断する組織を使い、顧客の課題を解決するソリューションを提供する。ソリューションセグメントでは「モノ×コト売り」を推進する。顧客も気がついていない価値提供ができるよう、ビジネス提案に取り組む。そのためAI技術を活用し、情報解析などができるプラットフォームを整備する。

4月には従来のコアコンポーネント、電子部品、ソリューションに並ぶ新セグメント「経営企画室」を新設した。全社を見渡すための組織で、研究開発や生産技術、デジタル変革（DX）、AIなどで横串を指す。全社戦略を検討し、立案する。

次の100年へ。その先の未来へ。



世界がさまざまな課題に直面する今だからこそ、私たち、たけびしは、
技術の商社として培ってきた独自のソリューションを通じて、輝く未来を創造し続けようと思います。

たけびしは、1926年の創立以来、産業機器システムをはじめ、
半導体・デバイス、社会インフラ、情報通信などに至る幅広い分野で、産業の変革を支え、社会課題の解決に挑み続けてきました。

お客さまと共に歩み、共に考え、新たな感動と驚きを創出する—
それが、たけびしの使命であり、変わらぬ原点です。

これからも、京都の地で培ってきた「進取創造」の精神により、
技術力と提案力で新たな価値を創出し続ける「京都発 最強のトータルソリューション商社」を目指し、
次の100年へと歩みを進めてまいります。

株式会社たけびしは
4月24日に創立100周年を迎えます。



創立100周年特設サイトはこちら
https://www.takebishi.co.jp/100th/



軽く小さくエコに。設計が広がる現場が変わる。

革新的エアチャック「ウルトラフォース」。
従来品と比べ、把持力はそのままに。
1/3の軽量化、1/2のエア消費量削減、そして大幅な小型化を実現。
設計と運用に、さらなる自由を。

軽量化 $\frac{1}{3}$

小型化 SLIM

省エネ $\frac{1}{2}$

生産性 UP

軽量化でプレ抑制！
タクトタイム短縮！

詳しくはこちら



UltraForce
CHPS360-80

パーツハンドリング機器 搬送機器 作業者支援機器
省配線機器ユニライン ネットワーク機器 装置 モジュール

NKE株式会社
Humanized Automation

〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町366-1
フリーダイヤル 0120-51-5651



それさ、GSユアサ？

うちに新しいクルマがやってきた。

環境にいい、すごいやつ。
私の卒業式でも泣かなかった父が、
長年の相棒との別れには涙を流していた。
前の子と違って静かだけど、
いろんな場所には、力強く、
連れて行ってくれるよ。お父さん。

GSユアサのバッテリーは、車の電動化に貢献しています。

詳しくは「それさ、GSユアサ？」で検索

株式会社GSユアサ www.gs-yuasa.com/



エレクトロニクス京都2026 企業トップメッセージ

堀場製作所社長 足立 正之氏



2026年は中長期経営計画「MLMAP2028」の折り返しにあたる重要な1年となる。成長に向けた投資を止めることなく、より強固な収益構造の確立をめざす。

中核事業の一つである半導体分野では、京都府福知山市に新設する工場がまもなく稼働を迎える。主力製品

強固な収益構造確立へ

品マストコントロールの国内生産能力を最大約3倍まで高め、柔軟かつ安定した供給体制を構築する。

また2月に人工ダイヤモンドの研究開発を手がけるインドの会社を買収した。グループ内のシナジーを最大化し、ダイヤモンドエハーをはじめとする先端材料の実用化・普及に貢献するソリューション創出に取り組む。そして3月には豪州拠点を設立し、現地の販売会社もグループに迎え入れた。水質計測や産業プロ

さらにカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)やAIビジネスへの対応を通じて未来志向で社会課題と向き合い、新たな価値を創造することで持続可能な社会の実現を目指していく。

当社は今後も、社会の抱える課題を解決し、経営理念に掲げる「価値ある製品を創造し、明るい未来社会づくりに貢献する」ことを具現化すべく、全従業員が一丸となって事業の発展、成長を図っていく。

日新電機社長 西村 陽氏



4月より、新中長期計画「2030ビジョン」が開始した。本ビジョンでは、持続的成長の実現に向け、これまで以上に成長戦略の推進と事業基盤の強化に注力していく。

中東情勢、米中をはじめとする地政学的緊張や関税の影響など、事業環境は急激に変化している。一方

成長戦略・事業基盤を強化

で、2050年のカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)実現に向けた歩みは、平たんではないが着実に進んでいくと考えている。

再生可能エネルギー拡大と電力安定供給の両立、レジリエンス(復元力)強化、デジタル化・省人化といった社会からの要請も一層高度化していく。こうした変化は、お客さまや社会の期待に技術とサービスで応え、信頼を積み重ねてきた当社グループにとって大きな成長機会である。

独自技術をより磨き上げ、親会社の住友電気工業の技術も活用し、持続可能な社会の実現に貢献する「トータルエネルギーソリューションカンパニー」への進化を加速させる。

当社グループの成長の原動力は信用を重んじる事業運営にある。「誠実・信頼・永いお付き合い」を行動の原点に多様な価値観が尊重され、チャレンジ意欲を持って活動でき、一人ひとりが社会への貢献を実感できる企業グループとしてさらなる成長を目指していく。

ニチコン社長 森 克彦氏



世界は今、安定感と力強さを欠く経済情勢に加え、中東情勢などの地政学リスクや自国主義への懸念とも相まって、先行きは極めて不透明な状況が続いている。しかし、こうした厳しい局面は私たちにとって試練であると同時に、大きな成長のチャンスでもあり、

試練は成長のチャンス

スピードとフレキシビリティを持つ対応することが重要である。

AI(人工知能)や再生可能エネルギーなどの技術革新は、驚異的なスピードで当社の事業環境に大きな影響を与えている。生成AIの活用やデジタル化促進による業務プロセスの変革を加速し、将来の成長を見据えた提案型営業力を強化することで、お客さまの期待を超える価値を提供し、長期的な信頼関係を築いていきたい。

さらにカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)やAIビジネスへの対応を通じて未来志向で社会課題と向き合い、新たな価値を創造することで持続可能な社会の実現を目指していく。

当社は今後も、社会の抱える課題を解決し、経営理念に掲げる「価値ある製品を創造し、明るい未来社会づくりに貢献する」ことを具現化すべく、全従業員が一丸となって事業の発展、成長を図っていく。

SCREEN

人と技術をつなぎ、未来をひらく

輝け、未来。

SCREENは、液体を操る技術で半導体を輝かせる
さらに、次々とひろがるソリューションで世界を輝かせていく



CMキャラクター
見上 愛

株式会社SCREENホールディングス



光のように

KODENSHI

Sensing Technology

触れずに操作、
非接触センシング!



フラットタイプ
サーモパイル
温度センサ

究極の
コンパクト光源!



RGBレーザー光源
モジュール

空気、距離、
位置、回転等の
センシング!



測距センサ

回転検知小型反射型
エンコーダ



自己気流方式
ほこりセンサ



水検知センサ



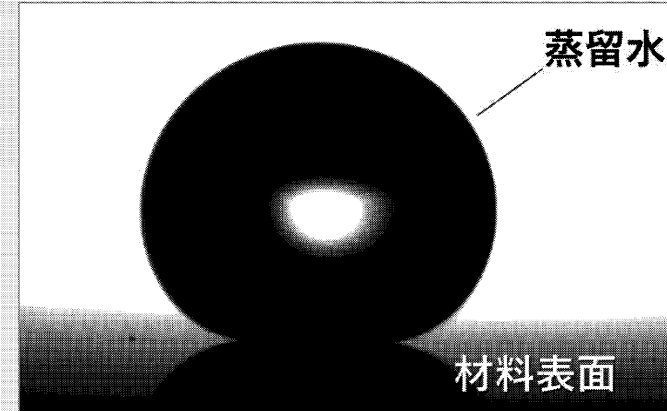
カラーセンサ



コーデンシ株式会社
〒611-0041
京都府宇治市横島町十一の161
TEL.0774-20-3559

—毎月開催— WEBプラズマ技術説明会

次回以降開催日：5月19日(火)、6月10日(水)



蒸留水
材料表面

**超撥水処理による表面の機能化など
様々な技術をご説明いたします!**

開催予定日など
詳しくはこちら






株式会社 魁半導体
URL <https://sakigakes.co.jp>

京都府京都市下京区西七条御前田町50番地
TEL 075-204-9589 FAX 050-3488-5883

エレクトロニクス京都2026

魁半導体

プラスマ装置メーカーの魁半導体は、装置購入の約3分の1の費用で1年間装置レンタルが可能な新サービスを2025年4月に始めた。初期コストを抑えてプラスマ装置を導入でき、短期の研究開発や補助金活用に最適だ。23年夏から本格始動したプラスマ受託処理も好調に推移する。研究開発用や生産用を問わずに引き合いがあり、特に半導体製造関連での案件が多い。

さらに、微小コンタミ(不純物の発生を抑えた大気圧プラスマ装置や、フッ素樹脂膜体の親水化技術など)新製品・新技術開発も継続しており、半導体だけでなく、さまざまな産業に貢献する。大気圧プラスマ・真空プラスマ両対応の技術開発力を活かして、今後市場ニーズに 대응する。

竹中エンジニアリング

竹中エンジニアリングは設置環境に合わせた多種多様な漏水センサーで、水漏れトラブルを最小限に抑える取り組みを力を入れる。突発的に見える漏水事故も、実は「早期発見の仕組み」で被害を最小限に抑えられるケースが少なくない。ビルやマンション、商業施設のほか、データセンター、サーバー室、工場では、わずかな水漏れが大損害に直結するため、対策が必要だ。

同社の漏水センサーは、センサー検知のスポット型や、配管に沿わせるリード線式、配管ができない既設建物でも導入しやすいワイヤレスタイプなど、選択肢が豊富。現場でのプザー報知に加え、外部出力や自動通報装置との組み合わせで遠隔地への通知も可能となる。事業継続を支える「リスクマネジメントツール」といえる。

有力企業の製品・技術

(順不同)

NKE

搬送機器などの工場自動化(FA)機器を手がけるNKEは、国内初の「シーケンスシリンダ機構」を搭載した二つ爪平行エアチャック「ワルトラフォース」シリーズを発表した。小シリンダーでワーク(加工対象物)接触までの初期動作を省エネルギーで行い、把持直後に大シリンダーへ自動切替して、高推力を発生させる構造が特長。

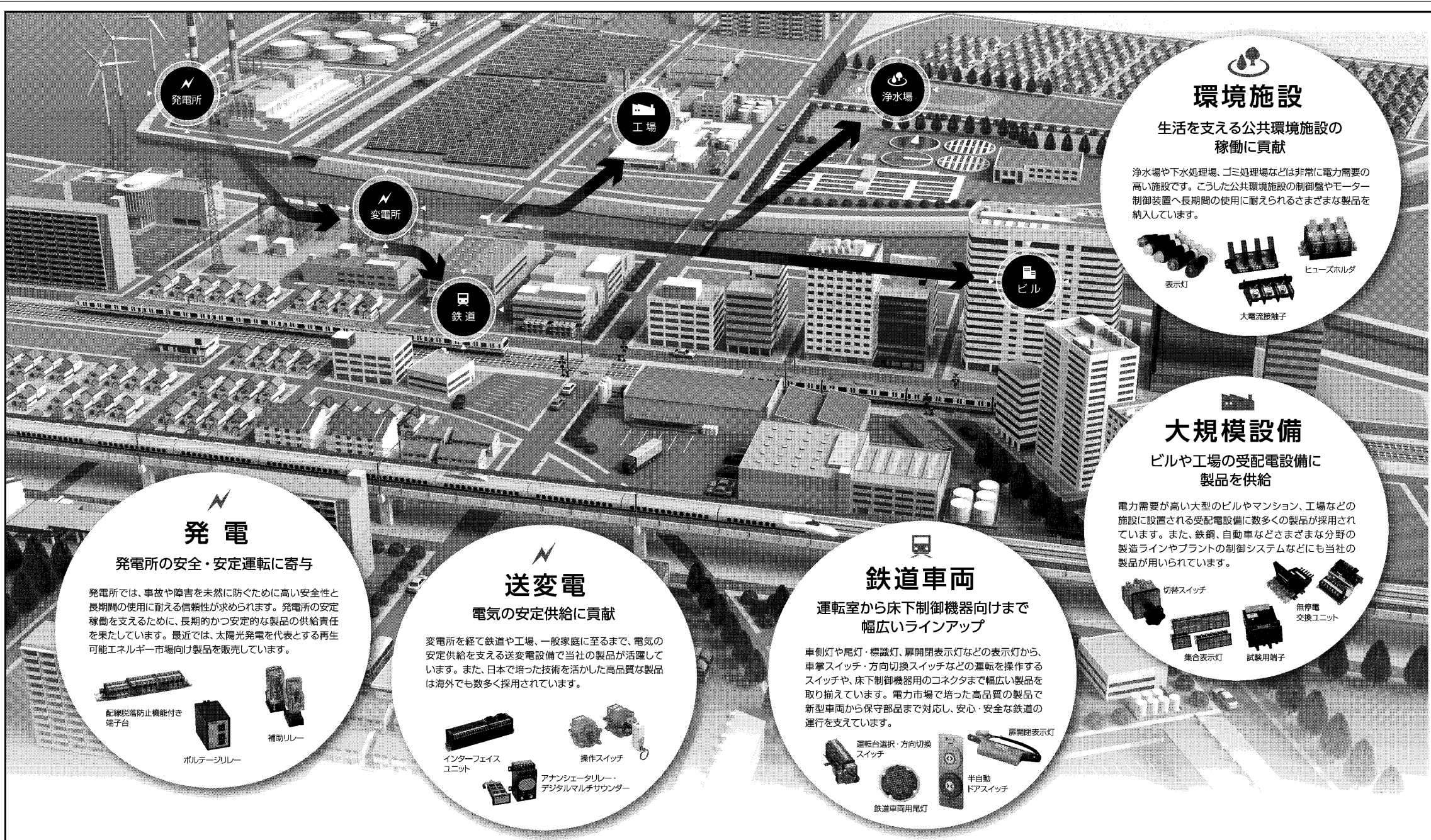
スクリーンカム方式と組み合わせることで、小型・軽量化と高把持力、省エネ性能を同時に実現した。従来機種と比べ、把持力はそのままに質量を約3分の1に軽量化し、エアー消費量も約半減。ロボットの可搬質量制限緩和やタクト短縮、設備設計の自由度向上に寄与する。

コーデンシ

コーデンシは光を生み出す発光素子と光を検知する受光素子の光半導体技術を中心に、測距、フォトインタラプター、光検知の三種のセンサーをコア技術として確立する。これらをもとに光学式エンコーダーやサーモパイル、ほこりセンサーなど、豊富な製品ラインアップをそろえる。

光半導体の設計からウエハープロセス、組み立て、アセンブリーまでの一貫生産体制を構築。半導体チップの仕様からセンサーの形状、出力方式、取り付け方法まで、顧客要望に合わせたカスタム対応が可能だ。

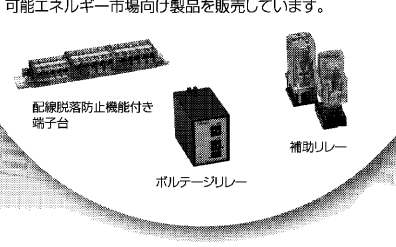
光センサーは種類が豊富で、どのセンサーを使用すれば良いかの判断が難しい製品。同社は光センサーの導入に関する相談にも気軽に応じている。



発電

発電所の安全・安定運転に寄与


発電所では、事故や障害を未然に防ぐために高い安全性と長期間の使用に耐える信頼性が求められます。発電所の安定稼働を支えるために、長期的かつ安定的な製品の供給責任を果たしています。最近では、太陽光発電を代表とする再生可能エネルギー市場向け製品を販売しています。



送変電

電気の安定供給に貢献

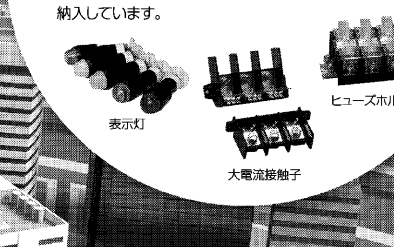
変電所を経て鉄道や工場、一般家庭に至るまで、電気の安定供給を支える送変電設備で当社の製品が活躍しています。また、日本で培った技術を活かした高品質な製品は海外でも数多く採用されています。



環境施設

生活を支える公共環境施設の稼働に貢献

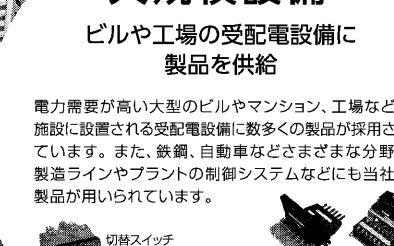
浄水場や下水処理場、ゴミ処理場などは非常に電力需要の高い施設です。こうした公共環境施設の制御室やモーター制御装置へ、長期間の使用に耐えられるさまざまな製品を納入しています。



大規模設備

ビルや工場の受配電設備に製品を供給

電力需要が高い大型のビルやマンション、工場などの施設に設置される受配電設備に数多くの製品が採用されています。また、鉄鋼、自動車などさまざまな分野の製造ラインやプラントの制御システムなどにも当社の製品が用いられています。



ビル

工場

浄水場

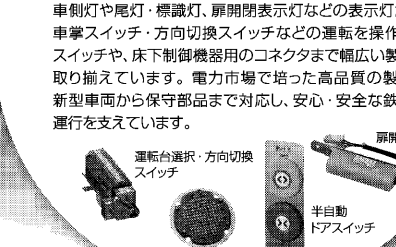
変電所

鉄道

鉄道車両

運転室から床下制御機器向けまで幅広いラインアップ

車輪灯や尾灯・標識灯、照明表示灯などの表示灯から、車掌スイッチ・方向切替スイッチなどの運転を操作するスイッチや、床下制御機器用のコネクタまで幅広い製品を取り揃えています。電力市場で培った高品質の製品で新製車両から保守部品まで対応し、安心・安全な鉄道の運行を支えています。



「信頼のブランド」 様々な場所で暮らしを支えます

発電所や変電所、鉄道、工場、ビル設備、環境施設など、不二電機工業の製品は人々の暮らしを支えるさまざまな場面で活躍しています。

日本国内のみならず、米国、中国、中近東、東南アジアなどの国・地域においても重電機器や鉄道車両に組み込まれるなど、信頼のブランドとして広く認知されています。

制御機器の品質保証をすすめる

不二電機工業株式会社

TEL.077-562-1215 FAX.077-562-1213
URL: <https://www.fujidk.co.jp/>
E-mail: news-nk@fujidk.co.jp
Web-EDI: <https://edi.fujidk.co.jp/>

営業部/〒525-8521 滋賀県草津市野村3-4-1
TEL.077-562-1215 FAX.077-562-1213

ISO9001取得 ISO14001取得

